

第6回 松ヶ崎小学校・米ノ庄小学校学校活性化協議会 議事録（要点筆記）

日時：令和8年3月11日（水） 19:00～19:50

場所：米ノ庄小学校 ランチルーム

出席者：

【委員】◎山本均 正木守 正木悦美 ○伊藤広美 杉本裕美 中村雅治 小林千加子
金谷勝弘 楠本誠 (◎会長 ○副会長)

【教育委員会】教育総務課 学校活性化推進室長 北畠和幸
教育総務課 学校活性化推進室主幹 清水尚美
教育総務課 学校活性化推進室主任 地主博一

欠席者：城代征俊

1. あいさつ

会長

本日が最後の学校活性化協議会になります。

本日もよろしくお願いいたします。

公開・非公開について

会長

本日の会議は、公開で進める。

(異議なし)

2. 協議事項

(1) 協議結果等の報告

説明：事務局 資料1「学校再編活性化に係る協議結果」
資料1別紙「よねのしょう小学校 校歌・校章」

会長

この件について、ご意見・ご質問はないか。

(意見なし)

(2) 再編校の行事予定

説明：学校長

(特記事項)

- ・4月は、下校時刻を早めるなどして余裕を持ったスケジュールにする。
- ・両地域を学びの場として活用する。
- ・新しい学校を見ていただく機会を設ける。(学校開放日：9月10日、1月26日に開催予定)

会長

この件について、ご意見・ご質問はないか。

(意見なし)

会長

新しい学校の道筋をつけていただくのは大変だと思う。

地域の皆さんにも、全面的な支援をお願いしたい。

3. その他

(意見なし)

(委員挨拶)

委員

前会長から引き継ぎ、住民自治協議会の会長として、1年間委員をさせていただいた。

これまではあまり学校に関わってこなかったが、子どもたちが地域に関心を持ってもらうために、住民自治協議会としての関わり方を考える1年になった。今後も、住民自治協議会として学校・子どもたちへの関わりが必要だと感じている。

この協議会で皆さんのお話を聞かせていただき、私自身勉強をさせていただいた。ありがとうございました。

委員

一つ一つ決めていくのは大変な作業だったと思うが、皆さんのご尽力により、このように4月を迎えられることを感慨深く思う。

交流学習では、子どもたちが仲良くしている様子だった。4月からは、実際に一緒に生活することになるが、みんながスムーズに学校に馴染めるよう、そしてよりよく育っていけるよう、学校運営がなされることを願っている。

校区が広がり、子どもたちが学びを得る場が広がることは大変喜ばしいこと。子どもたちが輝けるよう、両地域が協力し合い、子どもたちを支えていけたらと思っている。

委員

このような機会に委員をさせていただけたことに感謝している。

「松ヶ崎と米ノ庄は中学校が一緒」ぐらいに思っていたが、松ヶ崎と米ノ庄は古くから関係があったことが分かった。

平安時代には、松崎浦、松ヶ島、市場庄、中ノ庄、上ノ庄、久米の地域にまたがる「曾祢荘(そねしょう・そねのしょう)」という荘園があった。また、南北朝時代には、松崎浦から市場庄に向けて海水が引き込まれていて、市場庄まで船が入ってきていた。歴史を見ると、松ヶ崎と米ノ庄は明治時代まで同じ地区だったことが分かる。松ヶ崎と米ノ庄は、ずっと仲良しだった。そして、この度、改めて一緒になった。

自分自身、大変勉強になった。ありがとうございました。

委員

スケジュール通り整ったことが何より嬉しく思う。ありがとうございました。

小学校での交流学习と並行して、コミュニティセンターでも松阪市の元気応援事業の一環として、子どもたちの交流事業を進めた。その甲斐もあり、松ヶ崎小学校の子どもたちや保護者の方々と親しくなる機会を得た。そういった意味でも、新しい学校が既に走り出していると言える。

CSコーディネーターが協力して、新しい学校を支えていきたいと思っている。

学校長

学校を閉じる機会はあることではなく、そこに関わることができたことを嬉しく思います。

今年度は、松ヶ崎小学校・米ノ庄小学校の150余年の歴史の重み、地域の思いを実感する1年となりました。一つ一つのことを決めていく際にも、そのことが念頭にあったように思います。「よねのしょう小学校」でも、その思いを大切にしていきたいと考えています。

本日は、東日本大震災が発生した日です。ある学年では、「松ヶ崎小学校の友だちの家に向かっている時に地震が起こったら、どうするか？」という学習をしていました。既に、学びが広がっています。4月からは、松ヶ崎小学校と米ノ庄小学校の子どもたちが一緒になり、さらに学びが広がっていくことと思います。

寂しさもありますが、職員一同わくわくして新年度を迎えたいと思います。

学校長

様々な難題・課題を皆様と共有させていただきながら、今日まで進めてまいりました。そして、本日を迎えられることに感謝しています。

新しい「よねのしょう小学校」では、子どもたちを中心に置き、特色のある学校づくりを地域と一緒に進めていきたいと考えています。「統合しない方がよかった」と言われることがないように、職員一同が責任を持って取り組んでいきたいと思っています。

今後もよろしくお願いいたします。

委員

CSコーディネーターとして学校に関わる機会をいただき、子どもたちとの関わりを大事にしてきた。これまで、できることをできる範囲でさせていただいてきた。

学校をサポートするのが自分の役目だと考えている。足手まといになることがあるかもしれないが、これからも子どもたちのためにやっていきたいと思っている。

委員

当初は、1年そこそこで話がまとまるのかと心配していた。それでも、このようにまとまったのはすごいことだと思う。

松ヶ崎としては、松ヶ崎小学校の150周年の記念事業もできた。さっぱりとした気持ちで、統合を迎えることができることをありがたく思っている。

会長

会長として至らないところがあったが、皆さんにフォローしていただき、最良の結果になったと思う。ありがとうございました。

協議を始めた当初は、様々な意見があったが、最終的に松ヶ崎小学校と米ノ庄小学校が統合する形となった。

松ヶ崎の子どもたちは、スクールバスでの通学に変わる。全国的にはスクールバスに関わる事故等もあるが、その点については事務局で対策をしっかり考えてもらっている。子どもたちは、今はバス通学を楽しみにしているようだが、時間が経つにつれて課題も出てくるかもしれない。学校だけに任せるのではなく、委員の皆さんにはこれまで通り温かく見守っていただきたい。

地域を挙げて「よねのしょう小学校」を盛り上げていきたい。誰もが「統合してよかった」と思えるよう、学校と地域が一体となって学校づくりを進めていく必要があると考えている。学校から「学校行事等に地域も参加してほしい」という要望があれば、積極的に参加させていただきたい。

松ヶ崎から小学校という教育機関が無くなると、地域の過疎化に拍車がかかることが懸念される。ただ、小学校跡地にコミュニティセンター、住民自治協議会を移したい旨を松阪市に申し入れた。また、「学校跡地を利用したい教育機関はないか」という話をさせていただいていたところ、向陽台高校が入っていたことになった。

今後も、地域の活性化に向けて、地域の皆さんにはご理解・ご協力をお願いしたい。

事務局

委員の皆様には、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

本協議会では、学校再編活性化の是非、そして新しい学校の開校に向け、活発かつ真摯にご協議いただきました。そして、本日その役割を終える運びとなりました。

皆様からいただいたご意見やご提案は、豊かな経験と深い知見に基づいたものであり、私たち自身そのたびに気づきがあり、学びの多い時間を過ごさせていただきました。

また、本当に難しいテーマであるにもかかわらず、地域の未来や子どもたちの将来を見据え、異なる立場や視点を尊重し合いながら、冷静かつ協力的に協議を進めていただいたこと、深く感銘を受けております。とりわけ、校名の協議の際には、子どもたちにとって最善の方向性を、委員の皆様で見出していただきました。

とは言え、この4月からが本当の意味でのスタートとなります。これから見えてくる課題もあろうかと思いますが、子どもたちが、安全・安心に通える学校、多くの仲間と笑い合える・学び合える学校となるよう、教育委員会としてもしっかり学校をサポートしていきます。保護者や地域の皆様におかれましては、今後も引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

簡単ではございますが、お礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。